

会津北嶺 初の16強

会津工、4回意地の1点

会津北嶺は打線が活発に機能し、会津工との会津勢対決を10点差で制した。創部6年目にして、夏の福島大会で初めて16強に名乗りを上げた。

11日の葵との1回戦は10残塁と得点力が課題に浮上。2回戦までの間は打撃練習に力を注いだ。二回は2死二塁から8番北浦空来(2年)が先制左前打、三回には2死一、二塁から7番内藤瑠偉(3年)が右越え2点三塁打を放つなど、序盤から下位も含めて打線がつながった。

打線活発に機能 会津北嶺 守りも堅く

投げては主戦宮城智大(同)が打たせて取る投球で相手打線を抑え、無失策の野手陣とともに反撃を最少失点に抑えた。投打がかみ合っていたの快勝にも、3番長岡宏人(3年)は「甲子園に行くことだけを考えて一戦一戦勝利をつかむ」と緩みはなかった。

▼会津工・林辺元(四回に中前適時打)流れを変えたい一心で打席に入った。内角低めのカーブを打てたが、後が続かなかった。後輩たちには8強を目指してほしい。

◇ヨーク開成山▽2回戦
会津北嶺
042032
000100211
会津工



【会津北嶺—会津工】3回戦進出を決め、笑顔で引き揚げる会津北嶺ナイン

(六回コールド)

(北嶺) 宮城、佐藤—富山

(会工) 高野、小鮎、齋藤

一三浦

▽三塁打 内藤(北)▽二

塁打 小柳(会)▽盗塁

北0、会0▽失策 北0、

会4▽奪三塁 北2、会3

▽与四死球 北0、会5▽

暴投 高野、齋藤(会)

(球) 長沼(壘) 岩谷、神

山、江藤

▽試合時間 1時間53分

【評】北嶺が6回10安

打の攻めで会工にコールド

下勝ち。北嶺は二回2死

二塁から北浦と辻川の適

時打などで4点を先制。

三、五、六回も複数得点

で差を広げた。会工は四

回2死、佐藤からの4

連打で1点返したが、投

手陣が打ち崩された。